

豊橋駅バスセンター来月1日開設

豊 鉄

駅前出札所
全面改装

ガラス張り待合室を設置

豊橋鉄道(豊橋市南松山町、水野忠之社長)は、バス利用客の増加など目指し、8月1日に「豊橋駅バスセンター」をオープンする。既存の駅前出札所を全面改装し、ガラス張り待合室(冷暖房完備)など新設、バスの待ち時間を快適に過ごしてもらおう。

これまでの出札所(豊橋駅ペDESTリアンデッキ下)は、普通乗車券や

「豊橋駅バスセンター」を開設する現地(防音幕内)＝豊橋市花田町で

回数券販売を主眼に置いていた。このためバス利用客は暑さ寒さをしのぐ場所がなく、しかも立ちっぱなしで待っているケースが目立った。

今回のバスセンターでは、旅客サービスに主眼を置き、市制施行100周年記念日(8月1日)に合わせて開設する。ここに豊鉄予約センターの業務も移管し、空港直通バスや自社企画バスツアーの予約受け付けを行い、利益向上につなげ

ていく。普通乗車券・回数券販売ほか、定期券の発売機能も付加するとう。

さらに営業時間を拡大し、現行の午前8時〜午後7時から、午前7時半〜午後7時半(休日は午後7時まで)とする。また不測の事態に備え、豊橋ハートセンターの協力で、センター内にAED(自動体外式除細動器)を常設。同社では31日午前9時半から、オープンクセレモニーを予定している。

(藤田彰彦)

